

# 高槻市DX推進に向けたロードマップ

令和5年3月

高槻市

## 1 策定の背景

少子高齢化の進行などにより、厳しい財政状況が想定される中でも、市民サービスを維持していくため、これまでもICTを活用した業務効率化を図ってきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を契機として、さらに社会全体でDX推進の気運が高まっています。

また、国においては令和3年9月にデジタル庁が創設され、また、令和7年度末までに全自治体の基幹システム（住基や税など）を標準化することが目標とされるなど、DXの基盤となる環境整備が進められています。

こういった状況を踏まえて、国全体の環境整備に着実に対応するとともに、本市としてのDX推進の基礎となる取組を全庁的に進めるに当たり、その道しるべとなるものとして、大まかなロードマップを策定するものです。

## 2 ロードマップの位置づけ

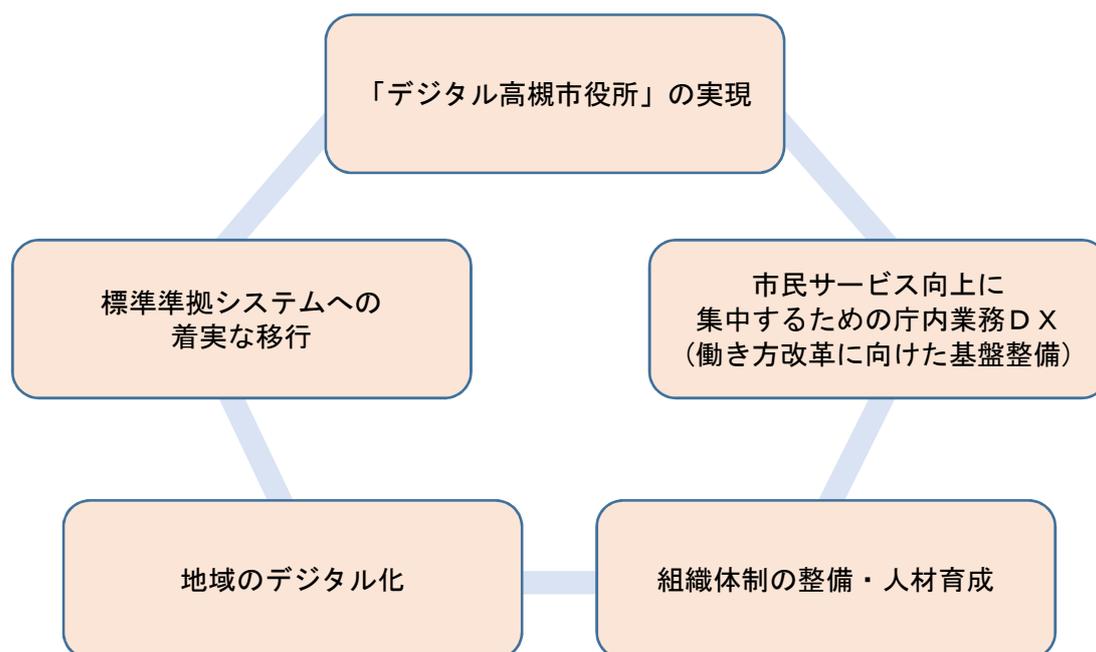
DX関連施策の効率的・効果的な進行管理の観点から、高槻市ICT戦略に付属するものとして位置付けます。

※国の自治体DX推進手順書において示されている工程表イメージを踏まえて策定します。

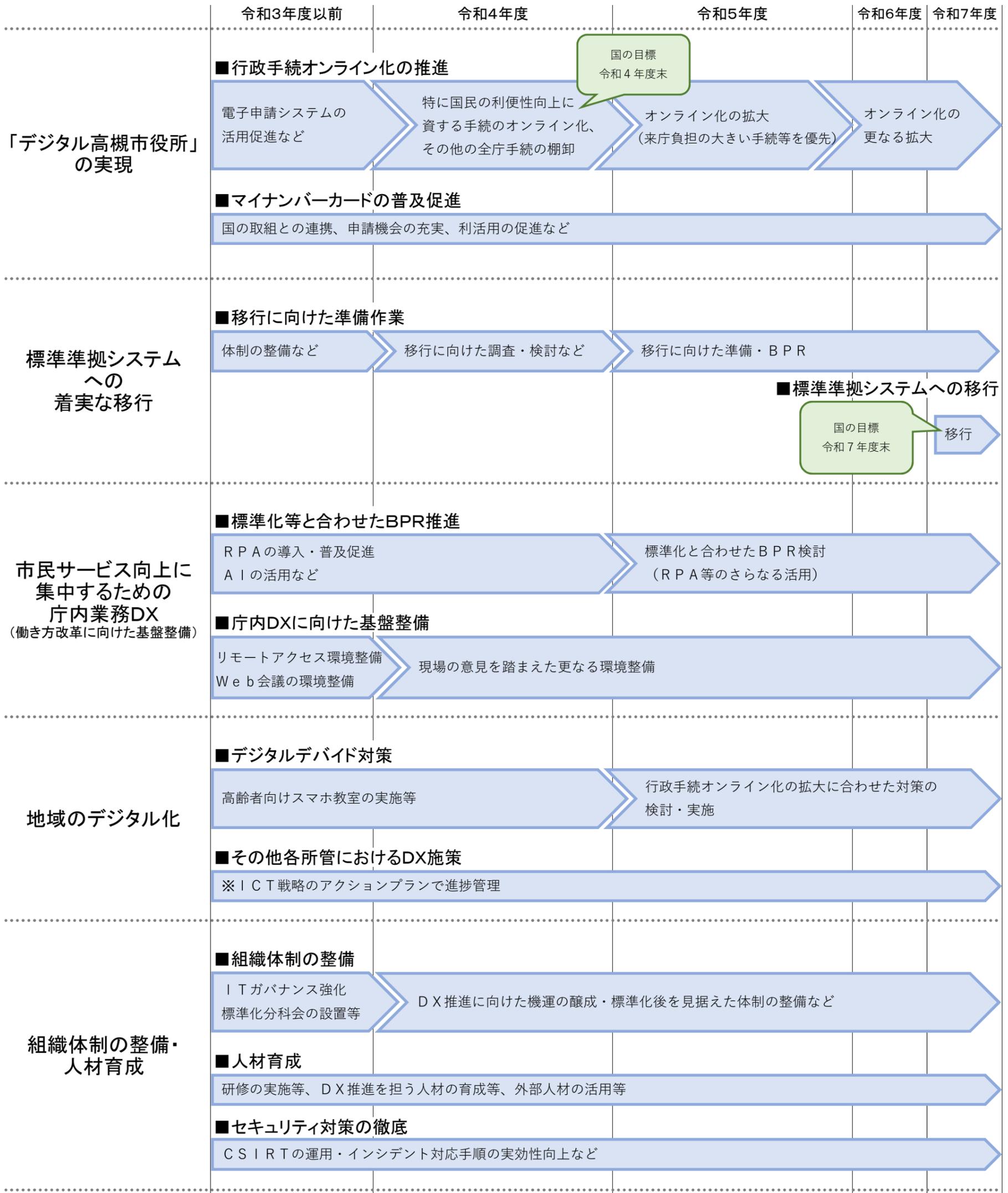
※ロードマップは、DX推進の基礎となる取組や全庁を横断して進める施策について大まかな道筋を示すものとし、具体的な個別施策については、高槻市ICT戦略におけるアクションプログラム等において進行管理を行います。

## 3 DX推進に向けた5つの道すじ

ロードマップは、下記の5つの大きな道すじで構成するものとします。期間は、国の自治体DX推進計画や標準化の完了目標年度と合わせた令和7年度までを視野に入れます。



# 4 ロードマップ



**用語説明**

DX : Digital X-formation(Transformation)の略で、ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。  
 BPR : Business Process Reengineeringの略で、業務のプロセス全体について、詳細に分析・評価・改善を行うことを通じて、抜本的な業務効率化と利便性向上の双方を実現すること。  
 RPA : Robotic Process Automationの略で、これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するもの。  
 AI : Artificial Intelligenceの略で、人間の思考プロセスと同じような形で動作するプログラム、あるいは人間が知的と感じる情報処理・技術。  
 CSIRT : Computer Security Incident Response Teamの略で、インシデントの発生に対応するための体制のこと。  
 インシデント : 個人情報漏えいやサイバー攻撃によるシステム停止など、セキュリティリスクが発現・現実化した事象のこと。